

まちづくりワークショップの開催概要

都市計画マスタープランの見直しに当たり、目標年次である 10 年後やその先を展望しながら、将来のまちのあるべき姿について、地域をよく知る地域住民（北条、加西、泉）を対象にワークショップを開催した。都市マスへの反映を目的とした従来型の「地域まちづくりワークショップ」開催前に、若い世代の参加者を対象とした「未来のまちづくりワークショップ」を開催、PC を配布し仮想空間上で意見交換をしながら、DX など新しい技術革新を参考に現在のまちの課題解決方法について意見交換した。

1. 未来のまちづくりワークショップ

日時	令和 4 年 5 月 29 日 (日) 14:30~17:00
場所	加西市役所 1 階 多目的ホール
今回の開催目的	<ul style="list-style-type: none"> ・近年のコロナウイルス感染症の蔓延、情報通信技術の進展等、これまでのまちづくりの常識にとらわれない、新しい考え方や行動が必要となっている。 ・目標年次の 10 年後だけでなく、その先も展望しながら、現在のまちの課題解決に向け地域の実情をよく知る若い世代の市民の意見をうかがい、これを取り入れた先進的な計画とする。 (※紙による従来方法ではなく、PC を用いた WS を実施)
テーマ	① 問題意識の格差を知ろう ② 困りごとを可視化してみよう ③ 取り組む課題を決定しよう
参加人数	11 名 班編成 3 班 (北条: 4 名、加西: 3 名、泉: 4 名)

北条の主な意見 (子育て世代、女性が多いグループ)

「まちの特徴・魅力付けが必要」

テーマの可能性として、「子育てのしやすさ、機能充実」
必要なツールとして、「コンテンツ作り・情報発信プラットフォーム」



加西の主な意見 (事業経営者、移住者の多いグループ)

「新しいコミュニティが必要」

- ・開かれた、入りやすい交流の場
- ・テクノロジーで実現 (VR プラットホーム、ローカルソーシャルメディア等)

「コミュニティを活かした新事業 (空き家・農業)」



泉の主な意見 (事業経営者、農業従事者のグループ)

「新しい農業・商業が必要」

(既存事業を現代のライフスタイルに沿ってアップデート)

「それら新事業を支える交通の充実」



2. 第 1 回 地域まちづくりワークショップ

日時	令和 4 年 8 月 30 日 (火) 19:00~21:00 頃
場所	加西市民会館 3 階 小ホール
今回の開催目的	・5 月に開催した「未来のまちづくりワークショップ」の参加者に加え、日ごろから各地域のまちづくりに参画されているベテラン世代 (ふるさと創造会議委員) も含めて幅広い世代の方々に対して、まちの課題や地域の実情をうかがう。
テーマ	「地域の良いところ・改善すべきところ」 「地域をより良くするために / 課題を解決するために」
参加人数	22 名 班編成 3 班 (北条: 7 名、加西: 8 名、泉: 7 名)

北条の主な意見: 良いところ「旧市街地でイベント」→駐車場整備

「自然が豊か」→キャンプ場の有料化

改善すべきところ「消防団の高齢化」→若い人や女性が入りやすい環境作り



加西の主な意見: 良いところ「戦争遺産」→飛行場跡地等の有効利用

改善すべきところ「空き家が多い」→まちづくり協議会が家主に活用を働きかける

「車が優先の道路」→歩きやすい歩道の整備



泉の主な意見: 良いところ「新規移住地域がある」→特別指定区域の促進

「校区別の地域主体型交通」→校区の垣根を超えて泉全体で取り組む

改善すべきところ「道路が狭い」「身近に公園がない」→計画的な整備



3. 第 2 回 地域まちづくりワークショップ

日時	令和 4 年 9 月 27 日 (火) 19:00~21:00 頃
場所	加西市民会館 3 階 小ホール
今回の開催目的	・8 月に開催した「第 1 回 地域まちづくりワークショップ」の結果を踏まえ、今後の地域のまちづくりの方向性を示すキャッチフレーズまたはキーワードの提案及び提案マップを作成する。
テーマ	「地域の中で自分たちができること」 「キャッチフレーズの提案」 「提案マップの作成」
参加人数	20 名 班編成 3 班 (北条: 6 名、加西: 8 名、泉: 6 名)

北条の主な意見: 自分たちができること

⇒「空き家の所有者に働きかけて有効利用を考えさせる」、「草刈、清掃」

キャッチフレーズキーワード

⇒「ふるさもふるさとあたらしまち 北条」、「かかわりあい ささえあい いいであい」



加西の主な意見: 自分たちができること

⇒「チャレンジしたい人へのフォロー」、「SNS 等で加西の見所を紹介」、「ふるさと創造会議に参加する」

キャッチフレーズキーワード

⇒「多世代がつながる 地域がつながる」、「新しい取組が生まれるまち」



泉の主な意見: 自分たちができること

⇒「町内単位で空き家の情報を集める」、「官主導でのヒアリング」

キャッチフレーズキーワード

⇒「自然・産業・観光・農業すべてがそろうまち 泉」、「自然豊かで子供たちの元気な声が聞こえるまち」、「ふるさと発展型都市」



※詳細な開催結果は参考資料 2 を参照

地域区分の設定

(1) 地域区分設定の考え方

地域別構想は、全体構想で示した部門別整備方針をもとに、地域の資源や特性を踏まえながら、地域ごとのまちづくりの方針を示すものです。そのため、地域の区分については、長い歴史のなかで育まれてきた文化や地域の生活圏に鑑み、地域割りを設定しました。

(2) 地域区分の設定

地域区分の設定については、将来都市構造で位置けた3つの都市核、副都市核を拠点としたうえで、古くからまちを形成してきた歴史性や現在の地域住民の生活行動圏域を鑑み、旧町の3地域に区分することとします。



■ 地域区分図

地域住民の行動圏域を市民意向調査の結果から捉えると、以下のことが分かります。

- 「食料日用品店」「大型ヨックヤクセター」「飲食店」「図書館」の利用は、「北条」と「加西・泉」で生活行動領域が異なることが分かります。また、そのいずれも、「北条」のうち「旧北条」「善防」の生活行動領域に差異があまり見られないことから、現行の都市マスで分割「旧北条」「善防」を一體的に捉えることとしました。

食料日用品

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=244)	48.4%	32.0%	7.4%	2.0%	0.8%	4.5%	0.4%	4.1%	0.4%
加西町 (n=98)	22.4%	30.6%	27.6%	11.2%	5.1%	2.0%	0.0%	1.0%	0.0%
泉町 (n=98)	39.8%	29.6%	10.2%	15.3%	2.0%	2.0%	0.0%	1.0%	0.0%
北条中学校区 (n=165)	49.7%	37.6%	3.0%	1.8%	0.6%	2.4%	0.0%	4.2%	0.6%
善防中学校区 (n=79)	45.6%	20.3%	16.5%	2.5%	1.3%	8.9%	1.3%	3.8%	0.0%

大型SC

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=226)	69.9%	0.4%	3.1%	6.6%	9.7%	6.2%	3.1%	0.9%	3.5%
加西町 (n=91)	52.7%	3.3%	7.7%	8.8%	12.1%	8.8%	5.5%	1.1%	3.3%
泉町 (n=87)	55.2%	1.1%	14.9%	2.3%	11.5%	6.9%	5.7%	2.3%	3.4%
北条中学校区 (n=152)	71.1%	0.7%	0.0%	2.6%	6.6%	7.2%	6.6%	3.9%	1.3%
善防中学校区 (n=74)	67.6%	0.0%	0.0%	4.1%	6.8%	14.9%	5.4%	1.4%	0.0%

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=215)	33.0%	23.3%	8.4%	8.8%	4.7%	14.0%	2.8%	4.7%	0.5%
加西町 (n=85)	17.6%	22.4%	10.6%	32.9%	3.5%	4.7%	1.2%	5.9%	1.2%
泉町 (n=82)	25.6%	23.2%	4.9%	28.0%	4.9%	6.1%	0.0%	6.1%	1.2%
北条中学校区 (n=144)	31.9%	29.9%	5.6%	9.0%	3.5%	12.5%	2.8%	4.2%	0.7%
善防中学校区 (n=71)	35.2%	9.9%	14.1%	8.5%	7.0%	16.9%	2.8%	5.6%	0.0%

図書館

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=74)	97.3%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
加西町 (n=31)	77.4%	0.0%	0.0%	19.4%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
泉町 (n=31)	83.9%	0.0%	0.0%	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%
北条中学校区 (n=53)	98.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
善防中学校区 (n=21)	95.2%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- また、「専門店」では「北条」「泉」が北条町駅周辺での利用が特に多いのに対し「加西」は加東市等への利用とほぼ変わらず、「福祉施設」では「北条」「加西」が北条町駅周辺以外の北条での利用が多いのに対し「泉」では北条町駅周辺が特に多いなど、「加西」と「泉」でも生活行動領域が異なることが分かります。

専門店

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=219)	48.9%	12.8%	2.7%	5.0%	4.1%	16.0%	2.3%	8.2%	0.0%
加西町 (n=87)	29.9%	11.5%	4.6%	26.4%	4.6%	11.5%	4.6%	5.7%	1.1%
泉町 (n=90)	42.2%	12.2%	1.1%	22.2%	3.3%	8.9%	1.1%	7.8%	1.1%
北条中学校区 (n=146)	52.7%	13.7%	1.4%	4.8%	2.7%	13.0%	2.7%	8.9%	0.0%
善防中学校区 (n=73)	41.1%	11.0%	5.5%	5.5%	6.8%	21.9%	1.4%	6.8%	0.0%

福祉施設

	加西市内			加西市外					兵庫県外
	北条町駅周辺	その他の北条	北条以外	加東市・西脇市・小野市	加古川市	姫路市	神戸市	その他兵庫県内	
北条町 (n=20)	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
加西町 (n=12)	16.7%	41.7%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
泉町 (n=7)	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
北条中学校区 (n=11)	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
善防中学校区 (n=9)	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

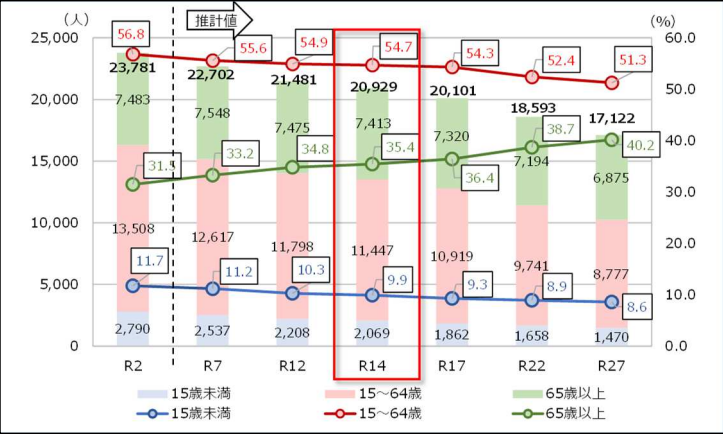
北条地域

1) 地勢・地域情報

道路	高速道路、IC	中国自動車道
	一般国道	国道 372 号、(事業計画)中：国道 372 号加西バイパス
	主要地方道・一般県道	(主) 小野香寺線、(主) 高砂北条線、(主) 多可北条線、(主) 三木穴栗線、(一) 一乗寺法華口線、(一) 玉野倉谷線、(一) 豊富北条線、(一) 中寺北条線、(一) 法華山線、(一) 山下節東線、(一) 大和北条停車場線
	その他の主な道路	(市) 小谷西谷線、(市) 剣坂野条線、(市) 高室市村線、(市) 西谷坂元線、(市) 古坂高室線、(市) 北条栗田線 (事業計画)中：(市) 鶉野飛行場線、(市) 三口 11 号線、(市) 吸谷線
鉄道		北条鉄道(北条町駅、播磨横田駅、長駅、播磨下里駅、法華口駅)
主要な施設		防災センター、加西市衛生センター、加西市クリーンセンター、加西市リサイクルセンター、加西市埋立最終処分場、加西市民会館、中央公民館、善防公民館
主な文化財・観光資源		一乗寺、酒見寺、住吉神社、北条の五百羅漢、北条の宿(北条町旧市街地)、後藤山古墳、加西カントリークラブ、播州東洋ゴルフ倶楽部
自然、公園		播磨中部丘陵県立自然公園(古法華自然公園)、加西アルプス、下里川、丸山総合公園

2) 人口

・北条地域の令和 2 (2020) 年の人口は約 23 千人であり、将来人口の推移は令和 14 (2032) 年には約 3 千人減少し、令和 27 (2045) 年には令和 (2020) 年のおよそ 7 割にまで減少することが予測されている



■ワークショップでの自由意見

- ・商業施設、娯楽施設の充実
- ・IC カード利用、便数の確保、終電の延長など、北条鉄道利便性の向上
- ・市街地内外の道路の拡幅による安全安心な歩道・自転車道・車道の確保
- ・市内の公共交通の移動の利便性の向上
- ・子どもたちが遊べる身近な公園の充実
- ・太陽光発電の電力を地域で使う「加西電力」が必要
- ・古法華自然公園の整備に子供たちの意見を取り入れる
- ・賀茂の JA 跡地に住宅地を整備したい 等

4) 地域の課題

- 【土地利用】・低未利用地の土地の有効活用を促進していく必要がある 等
- 【都市交通】・地域内の道路網は道路整備を図る必要がある 等
- 【公園緑地】・都市公園は経年劣化への対応や防災拠点として機能充実を図る必要がある 等
- 【下水道等】・雨水幹線の整備を図る必要がある 等
- 【環境景観】・北条町旧市街地地区のまちなみは失われつつある歴史景観を保全・形成する必要がある 等
- 【都市防災】・安全・安心なまちづくりを進めていく必要がある 等
- 【その他】・不特定多数の人が利用する施設は防災性の向上や誰もが利用できる施設環境を整備する必要がある 等
- 【アンケート】・鳥獣害の被害削減を目的とした里山の整備についての意見 等
- 【ワークショップ】・中学校等公共施設の跡地活用を懸念する意見、北条町旧市街地の駐車場不足を懸念する意見等

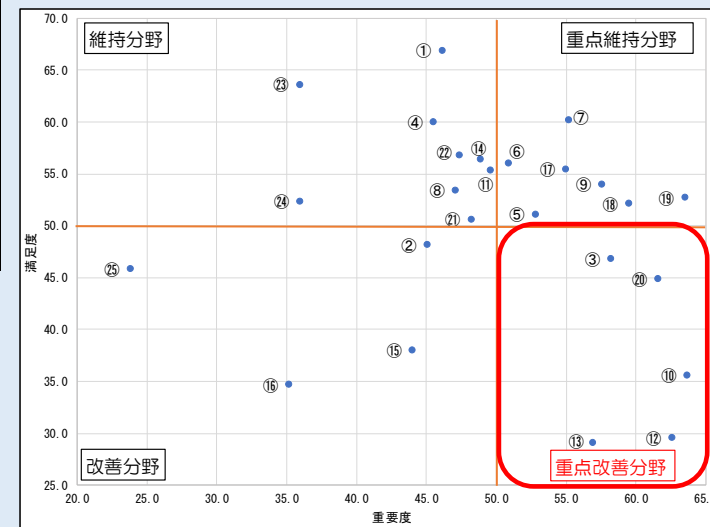
5) 地域の将来像

ふるさと、あたりしさが出会い、未来へ向かうまち 北条(案)

3) アンケート結果

■重点改善分野(優先度順)

- ⑫車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
- ⑩安全で快適な道路ネットワークの整備
- ⑬コミュニティバス等の利便性
- ⑳災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
- ㉑集落の維持のため地域住民雇用の機会としての市内企業を拡張するまちづくり



6) 地域づくりの基本方針(黄色ハッチは次項の地域別方針図の旗揚げ部分)

1. 土地利用の方針

- ・居住促進エリアでは、用途地域に即した住環境の維持・形成、小規模農地における住宅、共同住宅の立地促進
- ・まちなか交流エリアでは、点在する低未利用地の活用促進、北条町駅から放射状に延びる幹線道路沿道のロードサイド型商業環境の維持・形成
- ・北条町駅の大型商業施設周辺では、土地利用の実態との整合と娯楽施設立地を可能にする用途地域の見直し
- ・鎮岩工業団地では、経済情勢の変化・企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大
- ・市街化調整区域内の既存集落地では、住宅地の整備支援、集落地内事業所の拡張・移転への支援、兵庫県空家特区条例に基づく特区指定や特別指定区域制度による空き家活用促進
- ・土地活用促進地区では、民間活力による住宅地、産業地、地域拠点形成に資する生活利便施設の立地誘導
- ・将来的には、市街化調整区域の硬い規制から、線引き廃止+土地利用計画などによる柔軟な規制誘導を目指す

2. 都市交通に関する方針

- ・地域の主要道路では、歩道設置など安全対策の推進、未整備箇所の整備、既設道路の適切な維持管理などによる機能的で効率的な道路ネットワークの形成
- ・国道 372 号加西バイパス、北播磨ハイランド・ふるさと街道の整備推進
- ・北条町と市内他地域の中心地を繋ぐ新しい公共交通ネットワークの構築を推進

3. 公園・緑地に関する方針

- ・丸山総合公園は、まちの緑遊拠点、災害時の防災拠点として機能維持
- ・古法華自然公園と加西アルプスは、緑遊拠点として機能充実を図る整備の推進

4. 下水道及び河川に関する方針

- ・下水道は、既存施設の適切な維持管理と計画的な更新
- ・河川は、未整備部分の整備と近年の気候変動に伴う集中豪雨への対策

5. 環境形成の方針

- ・市街化調整区域に広がる山林では、獣害被害削減も兼ねた里山再生事業等を活用による自然環境の維持・保全
- ・下里川では市民生活に潤いを与える河川空間の形成、ため池では住民参加による維持管理
- ・農地では、多面的機能支払交付金事業等を活用した住民主体の維持管理

6. 景観形成の方針

- ・北条町駅周辺の中心市街地では、人中心の歩きたくなるウォークアブルなまちづくり
- ・北条町旧市街地では、歴史的景観形成地区指定に基づくまちなみの保全形成と新しい住環境との共存
- ・市街化調整区域に広がる山地・丘陵地の稜線では、住民参加による里山の維持・保全
- ・地域と調和した再生可能エネルギー施設の開発誘導
- ・ほ場整備実施済のまとまりのある農地や集落は、北条鉄道や気球と一体となった加西市らしい景観保全・形成

7. 市街地整備の方針

- ・北条町駅周辺においては、主な都市機能が集積された市街地整備を推進
- ・市街化区域内の低未利用地の建築物の立地促進にむけ用途地域の変更など民間の有効な土地利用を誘導
- ・公共施設の跡地利用について地域を交えて検討するとともに、旧市街地では住民と協働で行う狭あい道路整備や老朽危険空き家除却によって空き地の集約化、再利用化
- ・古坂地区では、市役所と市立加西病院を核とした加西市スマートグリッドの拠点を構築
- ・東高室交差点周辺では、市街地化の推進

8. 住宅地整備の方針

- ・北条町旧市街地ではまちなみ保全と並行し、空き家・空き地密集街区や残存農地で民間資金による再整備検討
- ・古坂地区の低層住居専用地域では、既存住宅のバリアフリー改修促進や必要に応じて用途地域の見直しを検討
- ・横尾・栗田地区では、子育て世帯等への居住支援の充実と、住宅・共同住宅の立地促進政策の検討
- ・高室地区では、地区計画などによる低層住居専用地域の住環境の保全、形成

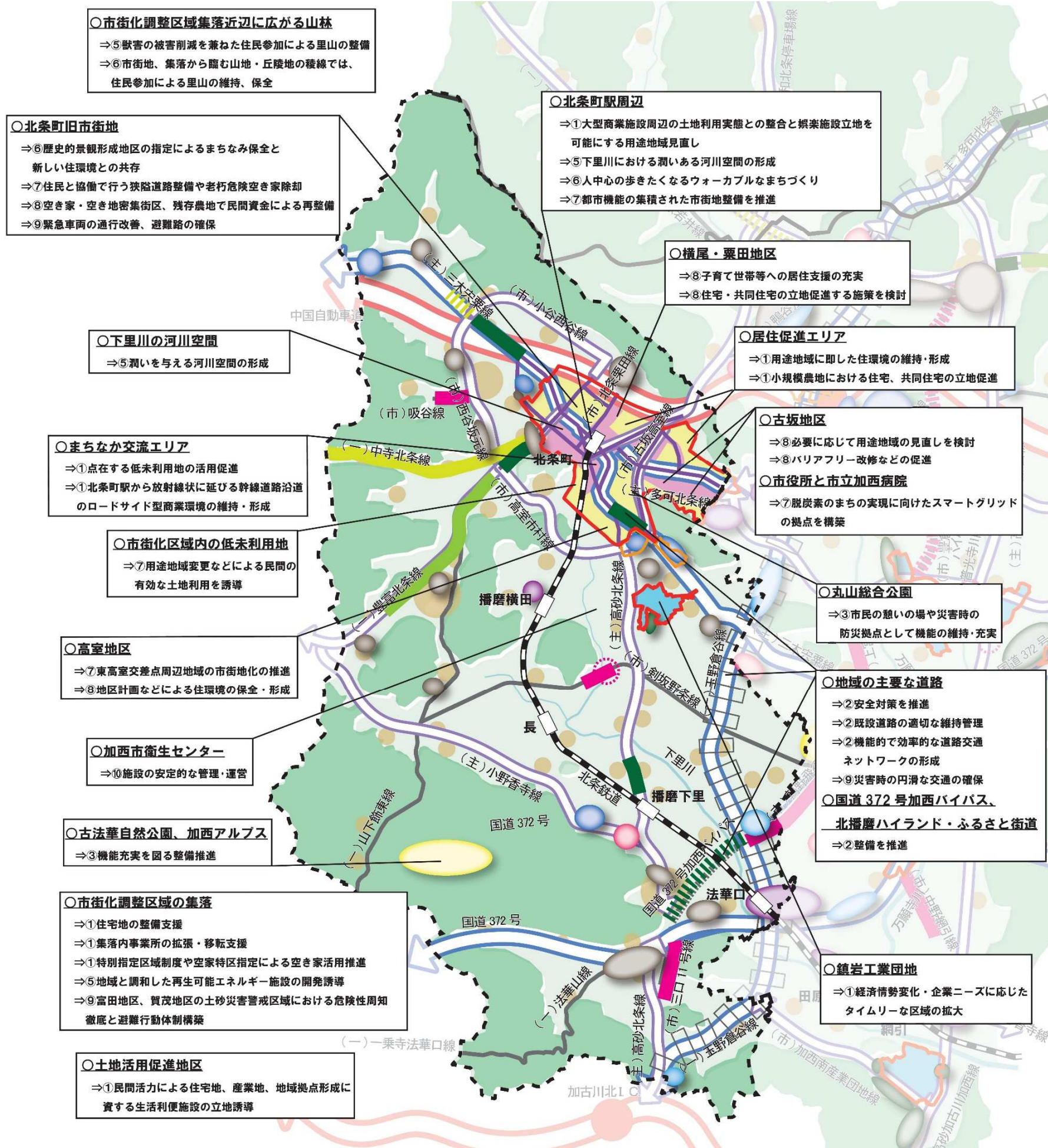
9. 都市防災の方針

- ・災害時の緊急輸送路となる道路では、災害時の円滑な交通の確保に向けて引き続き兵庫県と協働
- ・北条町旧市街地の狭隘道路の拡幅や道路後退線の遵守により、緊急車両の通行改善、避難路の確保を推進
- ・ハザードマップや災害情報の充実、スマートフォン等の連携を念頭に災害情報の提供機会の充実・改善
特に、富田地区、賀茂地区の土砂災害警戒区域における危険性周知徹底と避難行動体制の構築
- ・高齢化する地元消防団について、地域交流なども目指し入団しやすい組織のあり方を検討

10. その他の都市施設の方針

- ・加西衛生センターは、今後も施設の安定的な管理・運営
- ・学校教育施設は、引き続き適切な維持管理
- ・統合中学校の建設予定地は、まず各中学校区からアクセスしやすい位置で検討
- ・外国人世帯のサポートの充実について地域を交えて検討

7) 地域別方針図



凡 例	
	住宅地
	商業地
	工業地
	集落地区
	農業地区
	山林地区
	土地活用促進地区
	幹線道路沿道型
	産業拠点形成型
	既存集落活力向上型
	既存事業所活用型
	公共公益等施設集積型
	既存産業団地等隣接型
	地域資源活用型
	市街化区域
	市街化区域候補
	都市計画区域
	行政区
	国土軸
	広域幹線道路
	地域幹線道路
	都市計画道路
	北播磨ハイランド・ふるさと街道
	(道路整備計画) 県事業：前期 (R6-10) 完了
	県事業：後期 (R6-10) 完了
	県事業：事業調整箇所
	県事業：整備要望箇所 (R6-)
	県事業：整備要望箇所 (R11-)
	市事業：前期 (R6-10) 完了
	市事業：後期 (R11-15) 完了

地域づくりの基本方針
 ①土地利用の方針 ②都市交通に関する方針 ③公園・緑地に関する方針
 ④下水道及び河川に関する方針 ⑤環境形成の方針
 ⑥景観形成の方針 ⑦市街地整備の方針 ⑧住宅地整備の方針
 ⑨都市防災の方針 ⑩その他の都市施設の方針

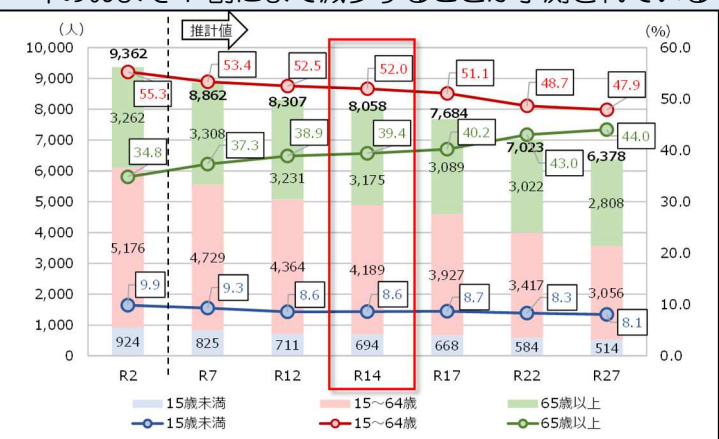
加西地域

1) 地勢・地域情報

道路	高速道路、IC	中国自動車道
	一般国道	国道372号、(事業計画中: 国道372号加西バイパス)
	主要地方道・一般県道	(主) 小野香寺線、(主) 高砂加古川加西線、(主) 多可北条線、(主) 三木穴栗線、(一) 高岡北条線、(一) 玉野倉谷線、(一) 野上河高線
	その他の主な道路	(市) 加西南産業団地線、(市) 剣坂野条線、(市) 玉丘常吉線 (事業計画中: (市) 鶉野飛行場線、(市) 豊倉日吉線バイパス、(市) 上宮木玉野線、(市) 中野綱引線、(市) 中野家塚線、(市) 山枝殿原線)
鉄道		北条鉄道(田原駅、綱引駅)
主要な施設		アラジスタジアム、勤労者体育センター、sora かい、南部公民館 (整備検討中: 道の駅)
主な文化財・観光資源		玉丘古墳群、山の脇瓦窯跡、あびき湿原、いこいの村はりま、兵庫県立フラワーセンター、鶉野飛行場跡地、青野原俘虜収容所
自然、公園		下里川、普光寺川、万願寺川、玉丘史跡公園、綱引公園、綱引緑地

2) 人口

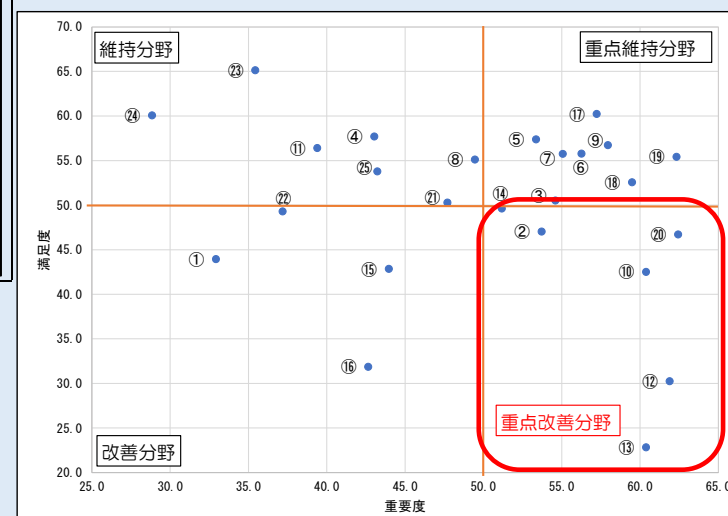
・加西地域の令和2(2020)年の人口は約9千人であり、将来人口の推移は令和14(2032)年には約1千人減少し、令和27(2045)年には令和2(2020)年のおよそ7割にまで減少することが予測されている



- ワークショップでの自由意見
- ・市街化調整区域制度の廃止
 - ・徒歩で行ける範囲の利便性向上
 - ・歩道、車道の整備
 - ・体育館の整備
 - ・回遊型の観光によるまちづくり
 - ・給食センターの跡地利用の検討
 - ・子育て世代の選ばれるまちづくり

3) アンケート結果

- 重点改善分野(優先度順)
- ⑬ コミュニティバス等の利便性
 - ⑫ 車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
 - ⑩ 安全で快適な道路ネットワークの整備
 - ⑳ 災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
 - ② 目的に応じた機能を集落(小学校区)の中心に分担していくまちづくり



4) 地域の課題

- 【土地利用】・強みを活かす地域産業振興のための土地利用を検討する必要がある 等
- 【都市交通】・田原駅や綱引駅は利用促進を図る必要がある 等
- 【都市防災】・老朽化しているため池は改修する必要がある 等
- 【その他】・不特定多数の人が利用する施設は防災性の向上や誰もが利用できる施設環境を整備する必要がある 等
- 【アンケート】・映画館などの娯楽施設の充実を望む意見や自由に建築行為ができるようにという意見 等
- 【ワークショップ】・北条地区とは異なるコンセプトの商業施設の誘致や神姫バス北条営業所周辺の開発、鶉野飛行場の観光以外の利活用を望む意見 等

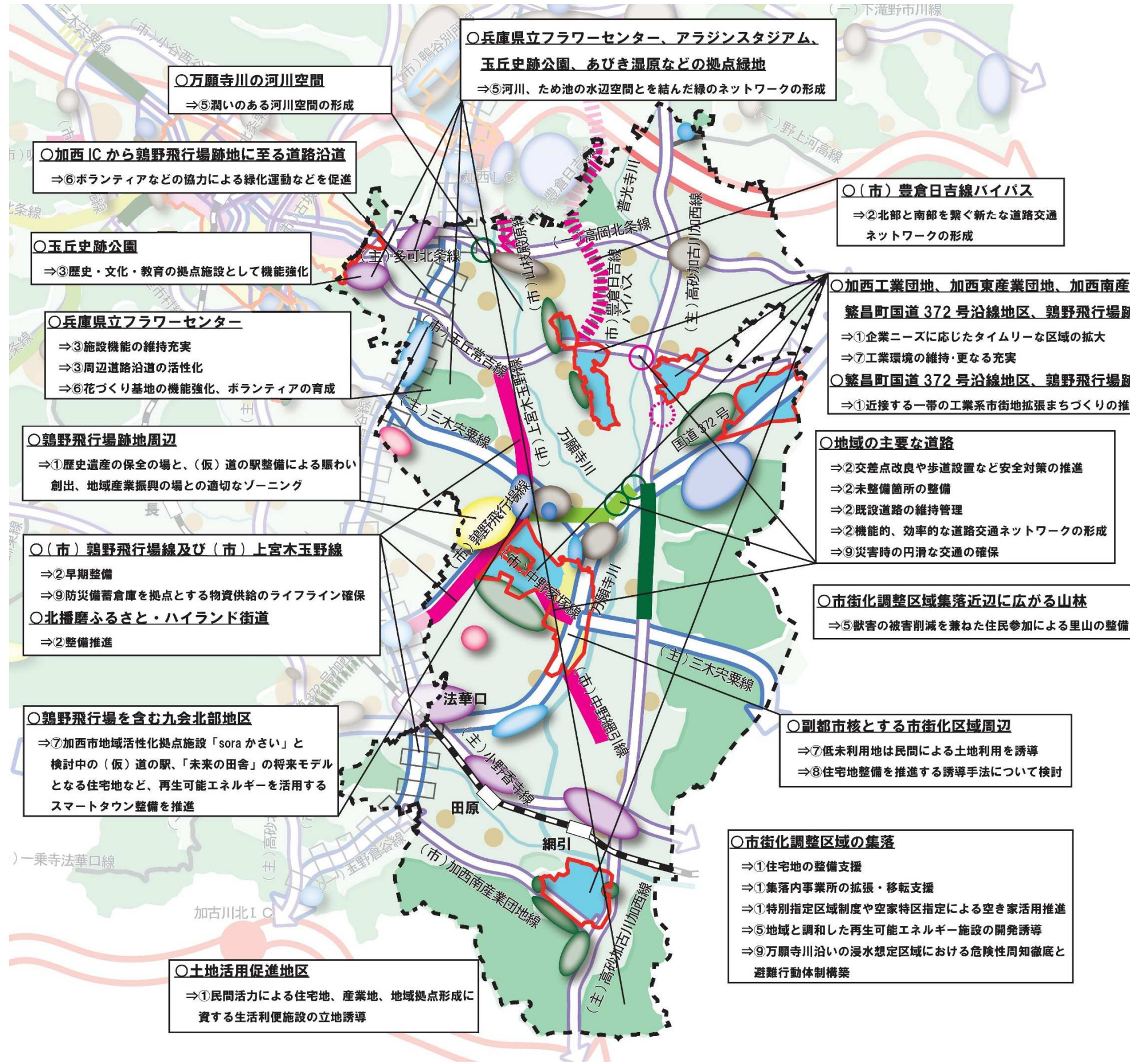
5) 地域の将来像

新しいものを受け入れ新しい取組が生まれるまち“チェンジ”加西(案)

6) 地域づくりの基本方針(黄色ハッチは次項の地域別方針図の旗揚げ部分)

- 1. 土地利用の方針**
 - ・地域内の産業団地における経済情勢・企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大
 - ・繁昌町国道372号沿線地区と鶉野飛行場跡地東部地区に近接する一帯の工業系市街地拡張まちづくりの推進
 - ・市街化調整区域内の既存集落地では、住宅地の整備支援、集落内事業所の拡張・移転への支援、兵庫県空家特区条例に基づく特区指定や特別指定区域制度による空き家活用促進
 - ・土地活用促進地区では、民間活力による住宅地、産業地、地域拠点形成に資する生活利便施設の立地誘導
 - ・鶉野飛行場跡地周辺における歴史遺産を保全する場と、(仮)道の駅整備による賑わい創出、地域産業振興の場との適切なゾーニング
 - ・将来的には、市街化調整区域の硬い規制から、線引き廃止+土地利用計画などによる柔軟な規制誘導を目指す
- 2. 都市交通に関する方針**
 - ・地域の主要な道路では、交差点改良や歩道設置など安全対策の推進、未整備箇所の整備、既設道路の適切な維持管理などによる機能的で効率的な道路ネットワークの形成
 - ・国道372号加西バイパスと繋がる(市)鶉野飛行場線と(市)上宮木玉野線の早期整備、それらと繋がる(市)豊倉日吉バイパスの整備検討、これらの整備推進による市北部と南部を繋ぐ新たな道路ネットワークの形成
 - ・北播磨ハイランド・ふるさと街道の整備推進
 - ・中野・鶉野地区を交通結節点とする新しい公共交通ネットワークの構築を推進
- 3. 公園・緑地に関する方針**
 - ・歴史文化遺産と市民が触れ合う歴史・文化・教育の拠点施設として、玉丘史跡公園の機能強化
 - ・兵庫県立フラワーセンターの施設機能の維持充実、周辺幹線道路沿道の活性化
- 4. 下水道及び河川に関する方針**
 - ・下水道は、既存施設の適切な維持管理や計画的な更新
 - ・河川は、未整備部分の整備と近年の気候変動に伴う集中豪雨への対策
- 5. 環境形成の方針**
 - ・市街化調整区域に広がる山林では、獣害被害削減も兼ねた里山再生事業等を活用による自然環境の維持・保全
 - ・万願寺川では市民生活に潤いを与える河川空間の形成、ため池では住民参加による維持管理
 - ・農地では、多面的機能支払交付金事業等を活用した住民主体の維持管理
 - ・兵庫県立フラワーセンター、アラジスタジアム、玉丘史跡公園、あびき湿原などは、河川、ため池の水辺空間を結んだ緑のネットワークの形成
 - ・地域と調和した再生可能エネルギー施設の開発誘導
- 6. 景観形成の方針**
 - ・ほ場整備実施済のまとまりのある農地や集落は、北条鉄道や気球と一体となった加西市らしい景観保全・形成
 - ・県立フラワーセンター花づくり基地の機能強化、花づくりボランティアの育成
 - ・中国自動車道加西ICから鶉野飛行場跡地に至る道路沿道は住民協力による緑化運動などを促進
- 7. 市街地整備の方針**
 - ・副都市核の形成のため、市街化区域内の低未利用地は、民間による有効な土地利用を誘導
 - ・産業団地や繁昌町国道372号沿線地区と鶉野飛行場跡地東部地区の工業環境の維持、更なる充実
 - ・鶉野飛行場跡地周辺など九会北部において、再生可能エネルギーを活用した先進的なまちづくりを検討
 - ・公共施設跡地などの利活用を地域を交えて検討
- 8. 住宅地整備の方針**
 - ・市街化調整区域内の空き家は、特別指定区域制度・県空家特区条例を活用し、兼用住宅、事務所、社宅、宿泊施設や地域交流拠点施設などへの用途に活用
 - ・市街化区域は、住宅地整備を更に推進する誘導手法について検討
 - ・市街化調整区域の九会北部、北条鉄道駅周辺などで、新生活のチャレンジを支援する”未来の田舎”へのUJ1ターン促進に必要な住宅地整備を検討
- 9. 都市防災の方針**
 - ・災害時の緊急輸送路となる道路では、災害時の円滑な交通の確保に向けて引き続き兵庫県と協働
 - ・(市)鶉野飛行場線及び(市)上宮木玉野線の道路整備を含め、鶉野防災備蓄倉庫を中心拠点とした物資供給のライフライン確保
 - ・ハザードマップの周知や災害情報を充実し、災害に関する情報提供機会の充実・改善
特に、万願寺川沿いの浸水想定区域における危険性周知徹底と避難行動体制の構築
 - ・高齢化する地元消防団について、地域交流なども目指し入団しやすい組織のあり方を検討
- 10. その他の都市施設の方針**
 - ・学校教育施設は、引き続き適切な維持管理
 - ・統合中学校の建設予定地は、まず各中学校区からアクセスしやすい位置で検討
 - ・今後、公民館の統合、他機能移転や複合化等について検討

7) 地域別方針図



凡 例			
	住宅地		土地活用促進地区
	商業地		幹線道路沿道型
	工業地		産業拠点形成型
	集落地区		既存集落活力向上型
	農業地区		既存事業所活用型
	山林地区		公共公益等施設集積型
			既存産業団地等隣接型
			地域資源活用型
	市街化区域		都市計画区域
	市街化区域候補		行政区域
	国土軸		
	広域幹線道路		
	地域幹線道路		
	都市計画道路		
	北播磨ハイランド・ふるさと街道		
			(道路整備計画)
			県事業：前期 (R6-10) 完了
			県事業：後期 (R6-10) 完了
			県事業：事業調整箇所
			県事業：整備要望箇所 (R6-)
			県事業：整備要望箇所 (R11-)
			市事業：前期 (R6-10) 完了
			市事業：後期 (R11-15) 完了

地域づくりの基本方針
 ①土地利用の方針 ②都市交通に関する方針 ③公園・緑地に関する方針
 ④下水道及び河川に関する方針 ⑤環境形成の方針
 ⑥景観形成の方針 ⑦市街地整備の方針 ⑧住宅地整備の方針
 ⑨都市防災の方針 ⑩その他の都市施設の方針

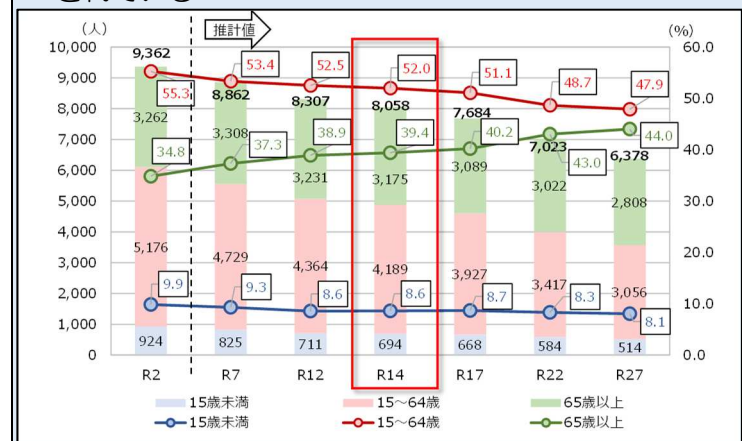
泉地域

1) 地勢・地域情報

道路	高速道路、IC	中国自動車道、加西 IC
	一般国道	—
	主要地方道・一般県道	(主) 多可北条線、(主) 高砂加古川加西線、(一) 下滝野市川線、(一) 大和北条停車場線
	その他の主な道路	(市) 鴨谷別所線、(市) 殿原若井線 (事業計画中：(市) 豊倉日吉線、(市) 山枝殿原線)
鉄道		—
主要な施設		オークタウン加西、加西市斎場、北部公民館
主な文化財・観光資源		日吉神社、奥山寺、東光寺、普光寺、久学寺、殿原のイチョウ、NPO 法人原始人の会 都市農村交流施設、青野運動公苑、タカガワオーセントゴルフ倶楽部、加西インターカントリークラブ
自然、公園		普光寺川、万願寺川

2) 人口

・泉地域の令和2(2020)年の人口は約9千人であり、加泉地域の将来人口の推移は、令和14(2032)年には約1千人減少し、令和27(2045)年には生産年齢人口が老年年齢人口を下回り、人口総数も令和2(2020)年のおよそ65%にまで減少することが予測されている



■ワークショップでの自由意見

- ・企業誘致の促進(新産業団地の早期完成)
- ・道路の整備(新産業団地に伴う整備、調整区域を横断している市道県道の整備、自転車道・歩道整備)
- ・公園の整備(各町内に自然を活かした公園)
- ・地域で人々が交流、助け合える環境の整備(集会所など常に人が寄れる場)
- ・ホテルが飛び交うなどの環境が残っているが、来訪者とのトラブル防止のための駐車場整備などが必要等

4) 地域の課題

- 【土地利用】・中国自動車道加西 I.C. 周辺は、ほ場整備事業による効率化と持続可能な農業の確立を進め、合併前の旧泉町のシンボルとして、優れた交通利便性などの立地条件を活かした商工業施設の誘導を図る産業用地と、就業者や移住者が居住する住宅地の整備を検討する必要がある等
- 【都市交通】・路線バスをはじめとした公共交通不便地区は、公共交通の充実を図る必要がある等
- 【環境景観】・都市計画区域外の河川、山林や田畑をはじめ豊かな自然環境について、自然景観の保全だけではなく積極的な活用を図る必要がある等
- 【アンケート】・子どもたちが遊べる身近な公園が欲しいという意見等
- 【ワークショップ】・近年、山林、農地やため池などで無秩序に太陽光発電が設置されている場所の秩序化について意見

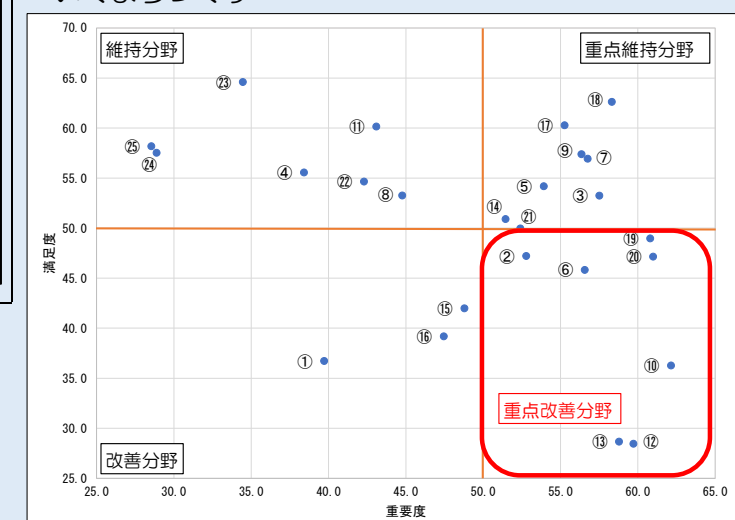
5) 地域の将来像

自然豊かで子供の元気な声が聞こえるふるさと泉(案)

3) アンケート結果

■重点改善分野(優先度順)

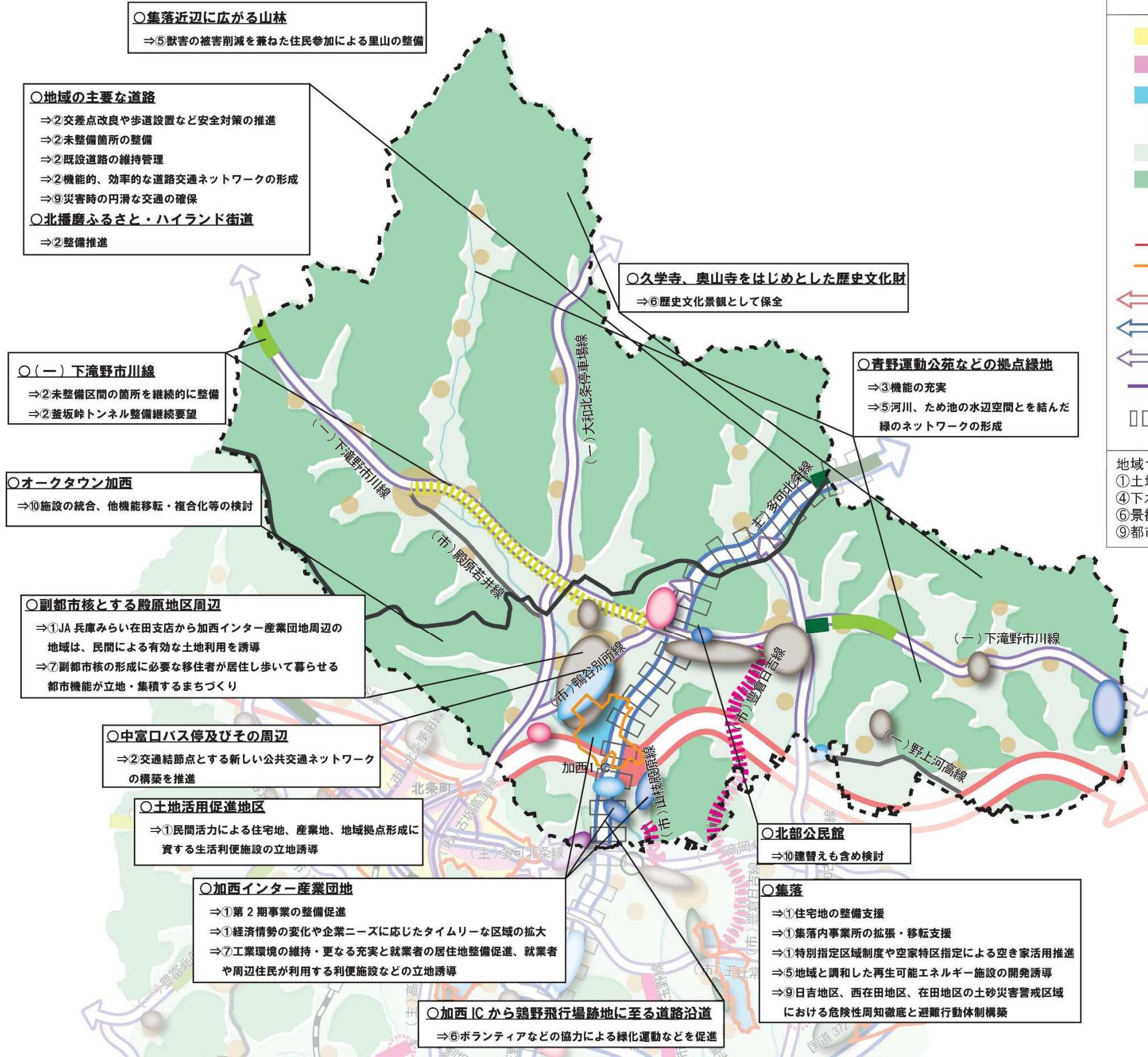
- ⑬コミュニティバス等の利便性
- ⑩安全で快適な道路ネットワークの整備
- ⑫車道と歩道の分離など安全で魅力的な歩行者空間の整備
- ⑳災害時の迅速な対応や地域住民の助け合いなどの体制整備
- ⑥良好な農業環境の維持
- ⑲道路、公園や川など災害に強い都市基盤の整備
- ②目的に応じた機能を集落(小学校区)の中心に担担していくまちづくり



6) 地域づくりの基本方針(黄色ハッチは次項の地域別方針図の旗揚げ部分)

- 1. 土地利用の方針**
 - ・加西インター産業団地第2期事業の整備促進、経済情勢変化や企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大
 - ・殿原町のJA兵庫みらい在田支店から加西インター産業団地周辺の地域は、民間による有効な土地利用を誘導
 - ・市街化調整区域内の既存集落地では、住宅地の整備支援、集落地内事業所の拡張・移転への支援、兵庫県空家特区条例に基づく特区指定や特別指定区域制度による空き家活用促進
 - ・土地活用促進地区では、民間活力を導入する開発誘導による住宅地・産業地としての土地利用推進
- 2. 都市交通に関する方針**
 - ・地域の主要な道路では、交差点改良や歩道設置など安全対策の推進、未整備箇所の整備、既設道路の適切な維持管理などによる機能的で効率的な道路ネットワークの形成
 - ・(一)下滝野市川線の未整備区間の箇所を継続的に整備、釜坂峠トンネルの整備継続要望
 - ・北播磨ハイランド・ふるさと街道の整備推進
 - ・中富バス停及びその周辺を交通結節点とする新しい公共交通ネットワークの構築を推進
- 3. 公園・緑地に関する方針**
 - ・青野運動公苑などの機能の充実を促進
- 4. 下水道及び河川に関する方針**
 - ・下水道は、既存施設の適切な維持管理や計画的な更新
 - ・河川は、未整備部分の整備と近年の気候変動に伴う集中豪雨への対策
- 5. 環境形成の方針**
 - ・山林では、獣害被害削減も兼ねた里山再生事業等を活用による自然環境の維持・保全
 - ・万願寺川では市民生活に潤いを与える河川空間の形成、ため池では住民参加による維持管理
 - ・農地では、多面的機能支払交付金事業等を活用した住民主体の維持管理
 - ・青野運動公苑、万願寺川などは、河川、ため池の水辺空間を結んだ緑のネットワークの形成
 - ・地域と調和した再生可能エネルギー施設の開発誘導
- 6. 景観形成の方針**
 - ・久学寺、奥山寺をはじめとする歴史文化財は、歴史文化景観として保全
 - ・中国自動車道加西 IC から鶴野飛行所跡地に至る道路沿道は住民協力による緑化運動などを促進
- 7. 市街地整備の方針**
 - ・殿原地区周辺は、副都市核の形成に必要な移住者が居住し歩いて暮らせる都市機能が立地・集積するまちづくり
 - ・公共施設跡地などの利活用を地域を交えて検討
 - ・加西インター産業団地における工業環境の維持・更なる充実と就業者の居住地整備促進、就業者や企業関係者、周辺住民が利用する便利施設などの立地誘導
- 8. 住宅地整備の方針**
 - ・市街化調整区域内の空き家は、特別指定区域制度・県空家特区条例を活用し、兼用住宅、事務所、社宅、宿泊施設や地域交流拠点施設などへの用途に活用
 - ・泉よつばこども園から(主)高砂加古川加西線周辺、宇仁小学校グラウンド跡地などで、”未来の田舎”へのUJターン促進に必要な住宅地整備を検討
- 9. 都市防災の方針**
 - ・災害時の緊急輸送路となる道路では、災害時の円滑な交通の確保に向けて引き続き兵庫県と協働
 - ・ハザードマップの周知や災害情報を充実し、災害に関する情報提供機会の充実・改善
 - ・特に、日吉地区、西在田地区、在田地区の土砂災害警戒区域における防災意識向上
 - ・高齢化する地元消防団は、入団しやすい組織のあり方を検討。
- 10. その他の都市施設の方針**
 - ・学校教育施設は、引き続き適切な維持管理
 - ・統合中学校の建設予定地は、まず各中学校区からアクセスしやすい位置で検討
 - ・地域交流拠点施設の立地を検討
 - ・北部公民館は、建替えも含め検討
 - ・オークタウン加西の計画的な修繕に備え、施設の統合、他機能移転・複合化等について検討

7) 地域別方針図



○集落近辺に広がる山林
⇒⑤ 獣害の被害削減を兼ねた住民参加による里山の整備

○地域の主要な道路
⇒② 交差点改良や歩道設置など安全対策の推進
⇒② 未整備箇所の整備
⇒② 既設道路の維持管理
⇒② 機能的、効率的な道路交通ネットワークの形成
⇒⑨ 災害時の円滑な交通の確保
○北播磨ふるさと・ハイランド街道
⇒② 整備推進

○久学寺、奥山寺をはじめとした歴史文化財
⇒⑥ 歴史文化景観として保全

○(一)下滝野市川線
⇒② 未整備区間の箇所を継続的に整備
⇒② 釜坂峠トンネル整備継続要望

○青野運動公園などの拠点緑地
⇒③ 機能の充実
⇒⑤ 河川、ため池の水辺空間とを結んだ緑のネットワークの形成

○オークタウン加西
⇒⑩ 施設の統合、他機能移転・複合化等の検討

○副都市核とする殿原地区周辺
⇒① JA 兵庫みらい在田支店から加西インター産業団地周辺の地域は、民間による有効な土地利用を誘導
⇒⑦ 副都市核の形成に必要な移住者が居住し歩いて暮らせる都市機能が立地・集積するまちづくり

○中富口バス停及びその周辺
⇒② 交通結節点とする新しい公共交通ネットワークの構築を推進

○土地活用促進地区
⇒① 民間活力による住宅地、産業地、地域拠点形成に資する生活利便施設の立地誘導

○加西インター産業団地
⇒① 第 2 期事業の整備促進
⇒① 経済情勢の変化や企業ニーズに応じたタイムリーな区域の拡大
⇒⑦ 工業環境の維持・更なる充実と就業者の居住地整備促進、就業者や周辺住民が利用する利便施設などの立地誘導

○加西 IC から鶴野飛行場跡地に至る道路沿道
⇒⑥ ボランティアなどの協力による緑化運動などを促進

○北部公民館
⇒⑩ 建替えも含め検討

○集落
⇒① 住宅地の整備支援
⇒① 集落内事業所の拡張・移転支援
⇒① 特別指定区域制度や空家特区指定による空き家活用推進
⇒⑤ 地域と調和した再生可能エネルギー施設の開発誘導
⇒⑨ 日吉地区、西在田地区、在田地区の土砂災害警戒区域における危険性周知徹底と避難行動体制構築

凡 例			
	住宅地	土地活用促進地区	
	商業地		幹線道路沿道型
	工業地		産業拠点形成型
	集落地区		既存集落活力向上型
	農業地区		既存事業所活用型
	山林地区		公共公益等施設集積型
			既存産業団地等隣接型
			地域資源活用型
	市街化区域		都市計画区域
	市街化区域候補		行政区域
	国土軸	(道路整備計画)	
	広域幹線道路		県事業：前期 (R6-10) 完了
	地域幹線道路		県事業：後期 (R6-10) 完了
	都市計画道路		県事業：事業調整箇所
	北播磨ハイランド・ふるさと街道		県事業：整備要望箇所 (R6-)
			県事業：整備要望箇所 (R11-)
			市事業：前期 (R6-10) 完了
			市事業：後期 (R11-15) 完了

地域づくりの基本方針
 ①土地利用の方針 ②都市交通に関する方針 ③公園・緑地に関する方針
 ④下水道及び河川に関する方針 ⑤環境形成の方針
 ⑥景観形成の方針 ⑦市街地整備の方針 ⑧住宅地整備の方針
 ⑨都市防災の方針 ⑩その他の都市施設の方針